

# Domaine de Chantemerle

ドメーヌ ド シャントメルル

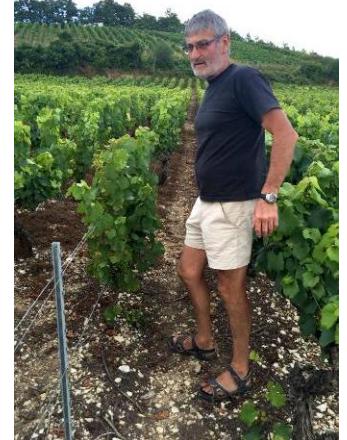
樽不使用。果実のピュアさが際立つシャブリ

ドメーヌ・ド・シャントメルルは、ブルゴーニュの伝統的なシャブリを継承する数少ないドメーヌです。樽を一切使わないワイン造りを信念とし、シャルドネ本来のピュアなアロマと瑞々しい果実味を湛えたシャブリを生み出しています。中でも優れたシャルドネを育むフルショーム、ロム・モールの一級畠は、卓越したテロワールを享受しています。ワイン専門誌ヴィノスのアントニオ・ガローニ氏が「未知の可能性を秘めたドメーヌ」と称えるこのドメーヌは、現在、フランス・ブダンと彼の娘達、アンジェリークとヴィルジニによって運営されています。

【画像:フランシス・ブダン】

《バーグハウンド#80 2020年10月10日参考》 樽を使用しないシャブリ造りは、ブダン家の信念として、少なくとも3世代に渡って受け継がれてきた。世代間の諍いがワイン造りの哲学に発展していく経緯は興味深い。フランスの祖父は当時、樽職人であったが、その息子のアデマールは、彼の仕事に色々と不満(製造過程で発生する騒音や匂い、屑等の散乱など)を持っていた。そのため、アデマールは、ブダン家でシャブリ造りをスタートさせた際に樽ではなく、セメント製やステンレス製のタンクを使うことに決めた。そして現在、息子のフランシスがその信念をしっかりと守り続けている。

【栽培・醸造】 リュット・レゾネ(減農薬農法)を採用し、有機肥料を使用。空圧式圧搾機で低圧力により優しく圧搾した後、果汁の不純物を取り除くため、コラージュ(清澄)、デブルバージュを施します。天然酵母を用いて低温発酵(アルコール発酵、マロラクティック発酵)を行い、エナメルコーティングしたタンクで約9ヶ月間熟成。均一な味わいになるようにブレンドし、温度を-4°Cに設定して酒石酸を除去します。ワインの芳醇で濃厚な味わいを保つため、最小限の濾過処理を施します。



※2024ヴィンテージは甚大な雹害を受け、収穫量が大幅に減少したため、リリースの予定はありません。

## 2023 Petit Chablis

ブティ シャブリ

品種:シャルドネ 畑:東、西向き/1.71ha 標高:200m 土壌:キンメリジャン層を含む粘土質土壌、赤色土から成る。  
平均樹齢:4-5年 飲み頃:収穫年から2、3年間 平均生産本数:6,600本

上代価格 ¥4,800(税別)

JAN: 4543190182416



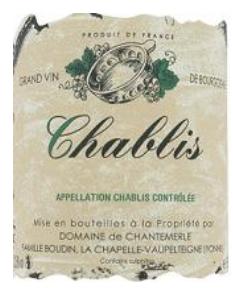
## 2023 Chablis

シャブリ

品種:シャルドネ 畑:東、西向き/13.17ha 標高:200-250m 土壌:キンメリジャン層を含む粘土石灰質土壌、石から成る。  
平均樹齢:30-35年 飲み頃:収穫年から3、4年間 平均生産本数:60,000本

上代価格 ¥5,600(税別)

JAN: 4543190182423



■コメント■ 胡椒やライム、レモンの皮、黄色い花を思わせるアロマを持ち、生き生きとした酸を伴う張りのある味わいを特徴としています。アペリティフとして楽しめるだけでなく、魚介類やオムレツ、サラダ、ゴーダチーズ、グリュエールチーズ等とも良く合います。

2018VT★バーグハウンド88点:涼しげでフレッシュ感を伴う魅力的なアロマを持ち、キニーネ、潮風、青リンゴのニュアンスを帯びた柑橘類の香りが広がる。肉付きがよく、丸みのあるミディアムボディの味わいは、心地良いボリューム感を備え、複雑と言いうより、むしろクリーンで爽やかな後味が印象的。魅力的なスタイルを持つ。  
《飲み頃:2022+年 | #80 2020/10/10掲載》

## 2023 Chablis 1er Cru Fourchaume

シャブリ ブルミエ クリュ フルショーム

品種:シャルドネ 畑:南西向き/5.36ha 標高:150-200m 土壌:キンメリジャン層を含む粘土石灰質土壌、石から成る。  
平均樹齢:40年 飲み頃:収穫年から6、7年間 平均生産本数:35,000本

上代価格 ¥7,000(税別)

JAN: 4543190182430



■コメント■ 碎いた石やレモンの皮を思わせる複雑なアロマが香ります。口に含むと、生き生きとした酸が伸びやかに広がり、長い後味が美しい余韻を生みます。

2018VT★バーグハウンド90点:オリーブオイルのニュアンスとともにシャブリ特有のアロマが穏やかに広がり、よく熟しているながらも魅力的なフレッシュ感を湛えている。優しく撫でるような柔らかな質感と凝縮感を備えた豊かなミディアムボディの味わい。上品なミネラル感があり、クリーンかつドライ、力強いフィニッシュで最高潮を迎えるが、堅牢さが際立つ。エレガントと言うより素朴な印象だが、このストレートで飾らないところに好感が持てる。

《飲み頃:2023+年 | #80 2020/10/10掲載》